

写真展

しやしんしごと人・佐々木隆二の世界

ことば

人と文のものがたり



会 期 2026年1月24日(土) - 3月22日(日)

会 場 仙台文学館企画展示室 観覧料 一般580円、高校生230円、小・中学生110円

※各種割引あり ※小中学生の方は「どこでもパスポート」等の持参で無料

休 館 日 月曜日(2月23日は開館)、2月12日(木)・24日(火)・26日(木)

開館時間 9:00~17:00(展示室への入室は16:30まで)

主 催 仙台文学館

企画協力 佐々木隆二

協 力 梶原さい子、熊谷龍子、佐藤通雅、高野ムツオ、仙台文学館友の会



(公財)仙台市市民文化事業団
仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根 2-7-1
TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044
URL <https://www.sendai-lit.jp/>
X <https://x.com/sendailit>

しゃしんしごと人・佐々木隆二の世界 人と文のものがたり

1940年に宮城県気仙沼市に生まれた佐々木隆二は、兄の影響で写真に興味を持ち、20代で「写真家グループ 集団仙台」に加入。数々のコンテストで入選を果たし、写真家・秋山庄太郎、林忠彦、白川義員、植田正治らとも交流を深めます。自らを「しゃしんしごと人」と称し、「誰も見ていないものを見えるように、自分にしかわからないものを誰にでもわかるように写真に撮る」ことをモットーに、60年間で932,000枚の写真撮影してきました。

「ものがたり」を紡ぎ、写真で表現するのが好きだという佐々木は、東北や宮沢賢治を主軸にすえた作品を発表するほか、「仙台コレクション」の写真家として、「復興コンサート」や「せんくら」のボランティアカメラマンとして、人々の「ものがたり」を記録し続けてきました。また1999年の仙台文学館開館の頃より、イベントの撮影や、文学館ニュースの表紙写真を手がけてきました。

本展では、こだわり続けてきた東北や宮沢賢治をテーマにした写真をはじめ、宮城の歌人・俳人とのコラボレーション作品、『河北新報』で連載された「きょうはバス日和」の写真、歴代館長の肖像写真、仙台文学館ニュース、四季折々の敷地の自然の写真など、約300点をご紹介します。「しゃしんしごと人」佐々木隆二の写真世界をどうぞご覧ください。

- ① 佐々木隆二「いのち」より
- ② 梶原さい子『リアス／椿』より
- ③ 佐藤通雅『3.11の記憶』より
- ④ 高野ムツオ『語り継ぐいのちの俳句』より



イベント

①対談「想いを撮る」

日時：2月8日(日) 13:30～15:00

出演：小岩勉氏(写真家)・佐々木隆二氏

定員：50名(先着)／申込開始：1月9日(金) 10:00から電話で

②朗読とトークのひととき～友の会会報「風と歩こう」欄に綴られたエッセイから～

〈仙台文学館友の会主催〉

日時：2月23日(月・祝) 14:00～15:00

トーク：一文字ひろみ氏・近田裕子氏・佐野のぶ氏・長沼和子氏(「風と歩こう」執筆者)

佐々木隆二氏

朗読・聞き手：渡辺祥子氏(朗読家・フリーアナウンサー／友の会会長)

定員：50名(先着)／申込開始：1月9日(金) 10:00から電話で

③朗読と音楽とスライド「風の又三郎」の世界

日時：3月1日(日) 13:30～14:30

朗読：菊池佳南氏(青年団／うさぎストライプ)

音楽：山本純氏(チェロ)

トーク：佐々木隆二氏

定員：50名(先着)／申込開始：2月10日(火) 10:00から電話で

※参加の際は観覧券または観覧券の半券が必要です
(会場はすべて仙台文学館講習室)

申込受付

仙台文学館

022-271-3020

今後の展覧会

特別展

「美しい本 製本装幀家ティニ・ミウラのしごと(仮称)」

4月～6月(予定)



(公財)仙台市市民文化事業団

仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根 2-7-1

TEL.022-271-3020 FAX.022-271-3044

URL: <https://www.sendai-lit.jp/>

✕ <https://x.com/sendailit>

交通のご案内

バス利用の場合

〈宮城交通バス〉

仙台駅西口バスプール2～4、6番乗り場 仙台北・泉地区方面行(北山トンネル経由を除く)

〈市営バス〉

仙台駅西口バスプール6番乗り場八乙女駅行

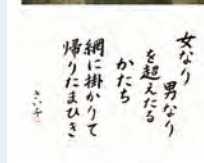
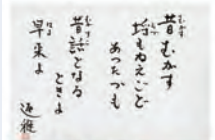
※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車

地下鉄利用の場合

地下鉄南北線「台原駅」下車、南1番出口より徒歩約25分(台原森林公園内あかまつの道経由)
※山道です。雨天時・降雪時は道が滑りやすくなりますのでご注意ください。

駐車場40台(無料)

台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



佐々木 隆二(ささき りゅうじ)

1940年、宮城県気仙沼市生まれ。1969年、二科展に入選。以降、二科会会員となり、審査員を務める。宮城県芸術協会写真部の設立に携わり、二科会写真部宮城支部を設立。みやぎ秀作美術展選考委員、宮城県芸術選奨選考委員を務める。2003年に宮城県教育文化功労賞を、2012年に地域文化功労者文部科学大臣表彰を受賞。個展「沢内甚句」、「南小泉村」、「古稀巡礼」、「百姓一年生」、「いのち」、「回転木馬」、「狸沼のものがたり」などを開催。雑誌『旅』に「民話の山里沢内」、「河北新報」に「米のなる日」、「きょうはバス日和」、「水の歳時記」、「俺達のひさしさん」を連載。『路上』に「手長野」、「あやしこりん界」を掲載。共著に『宮城庶民伝』(1984年、日本放送出版会)、『ひたすらに生きて』(1985年、宝文堂)、写真集に『風の又三郎』(2003年、書森舎)、高野ムツオ『あの時 俳句が生まれる瞬間』(2021年、朔出版)がある。



この印刷物は「雑がみ」としてリサイクルできます。